

自由な発想に基づく独創性豊かで多様な研究を 継続的に支援することの重要性について(提言) (参考資料)

学術研究懇談会(RU11)
平成27年11月



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

総長 山口 佳三



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

総長 里見 進



筑波大学
University of Tsukuba

学長 永田 恭介



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

総長 五神 真



早稲田大学
WASEDA University

総長 鎌田 薫



慶應義塾
Keio University

塾長 清家 篤



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

学長 三島 良直



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

総長 松尾 清一



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

総長 山極 壽一



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

総長 西尾 章治郎



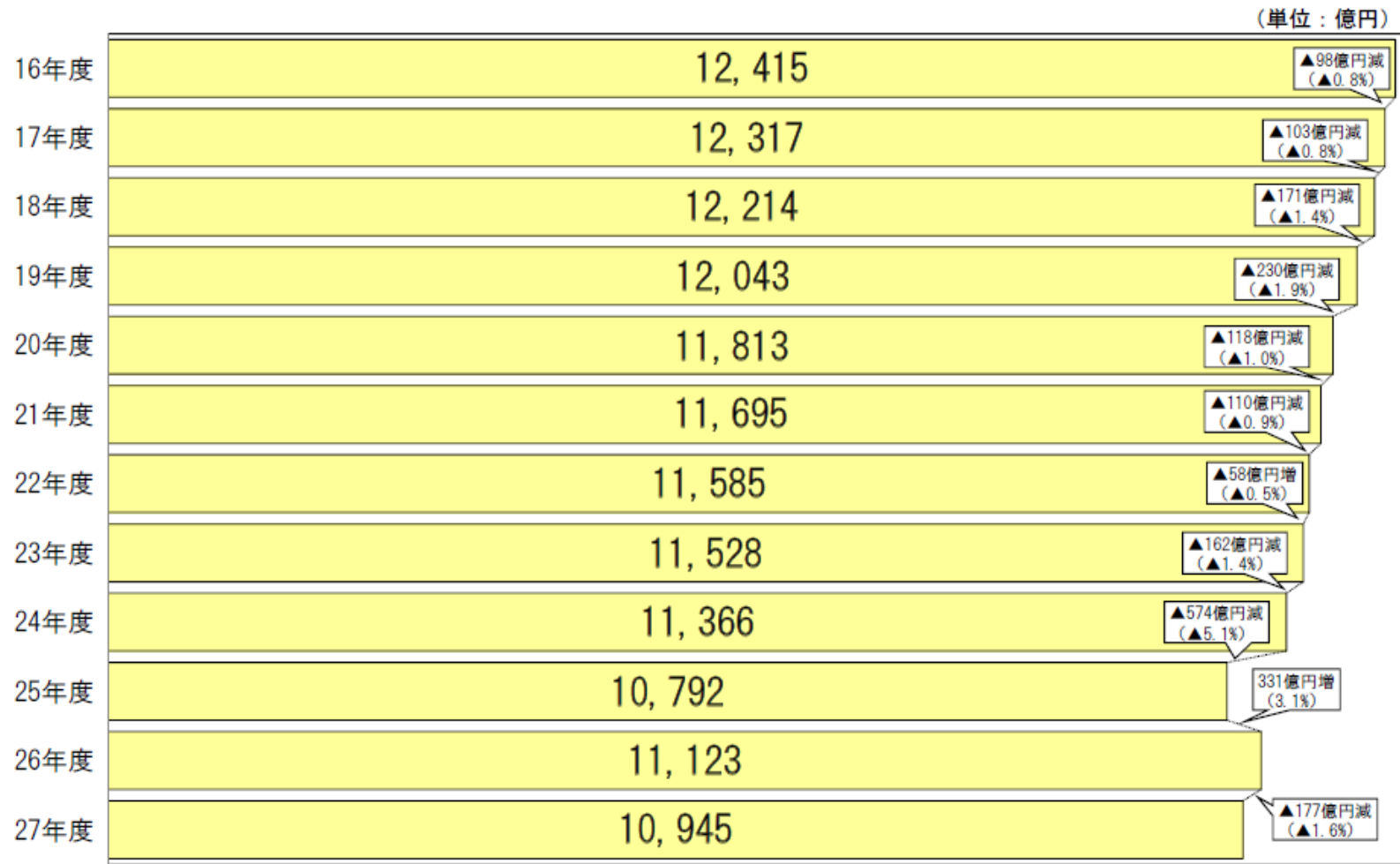
九州大学

総長 久保 千春



国立大学法人運営費交付金は年々減額され、 11年間で1,470億円(13.4%)の削減。

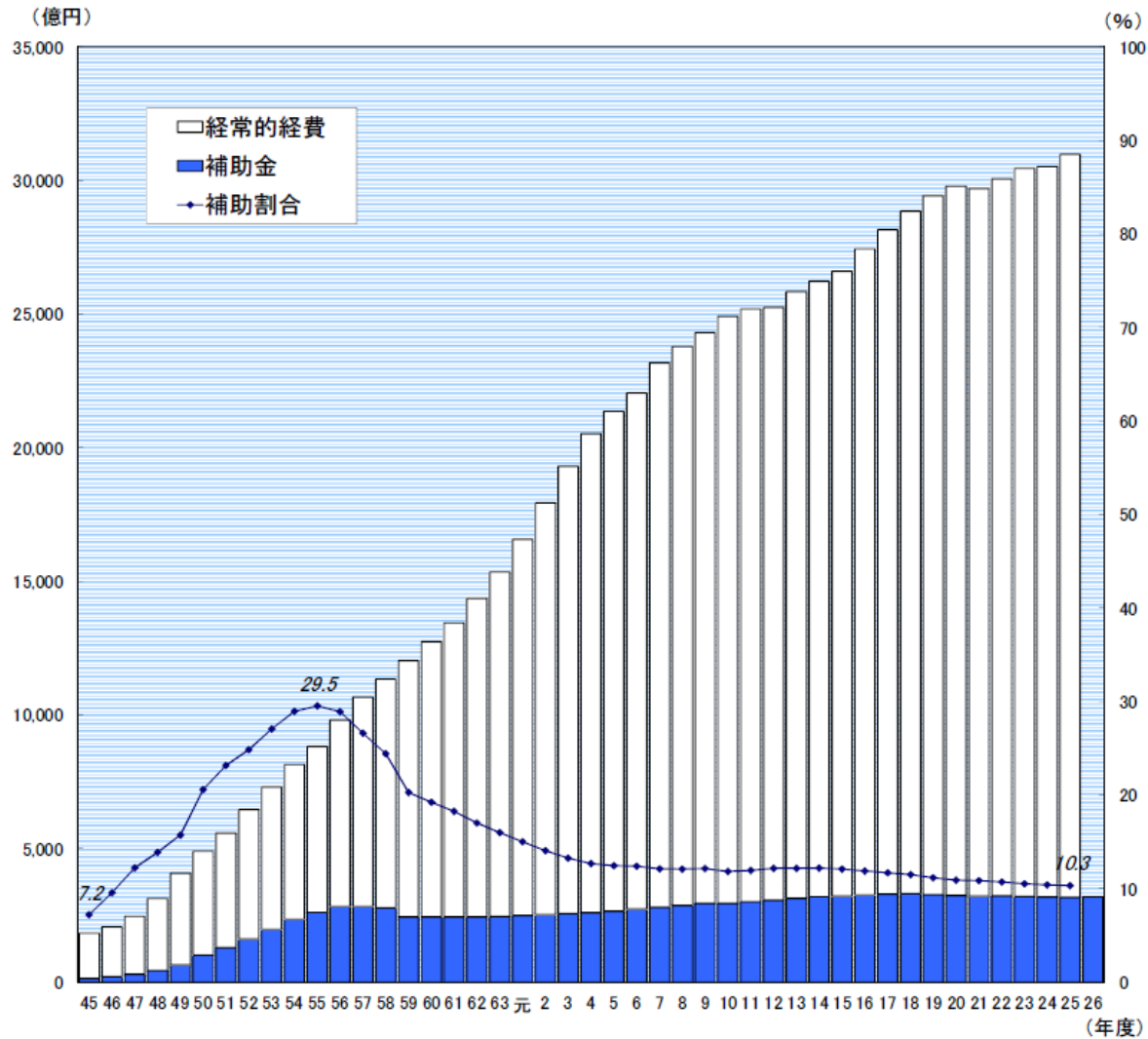
国立大学法人運営費交付金予算額の推移



※平成25年度については給与臨時特例法等による減額分、平成26年度については同法の終了に伴う増額分が含まれる。

私学助成(経常費補助金)の補助割合も減少し続けている。

私立大学等における経常的経費と経常費補助金額の推移



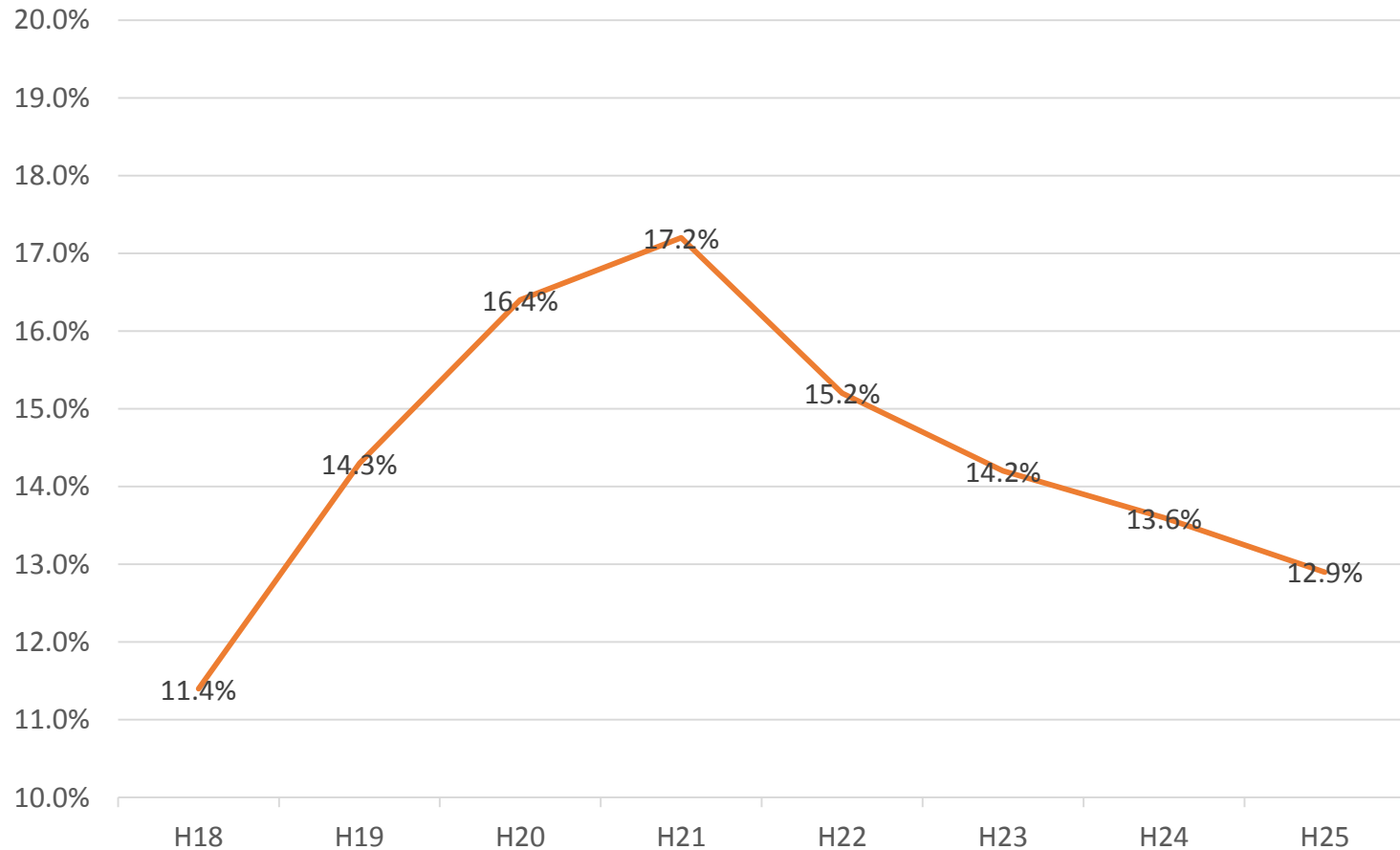
注1：平成26年度決算が未了のため、26年度の経常的経費の額は空欄である。

注2：経常費補助金の額は当初予算額である。(平成23年度の補正予算は含まない。)

注3：平成24年度以降の経常費補助金には、復興特別会計に計上している額を含まない。

間接経費率は3割に届かず、むしろ減少傾向にある。

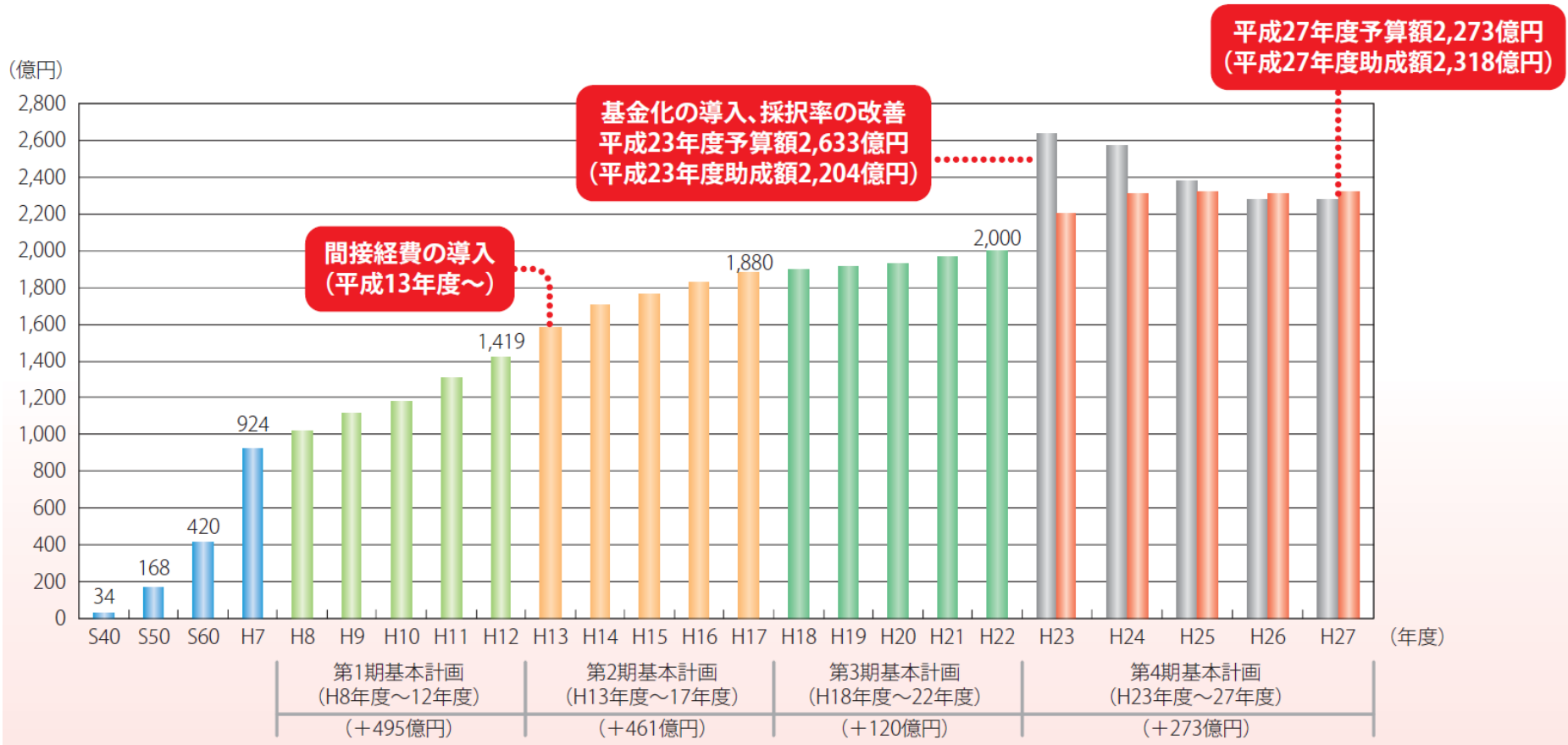
RU11間接経費率の推移(国立大のみ)



※早稲田大学、慶應義塾大学を除く。
※間接経費の額を直接経費の額で除して算出。

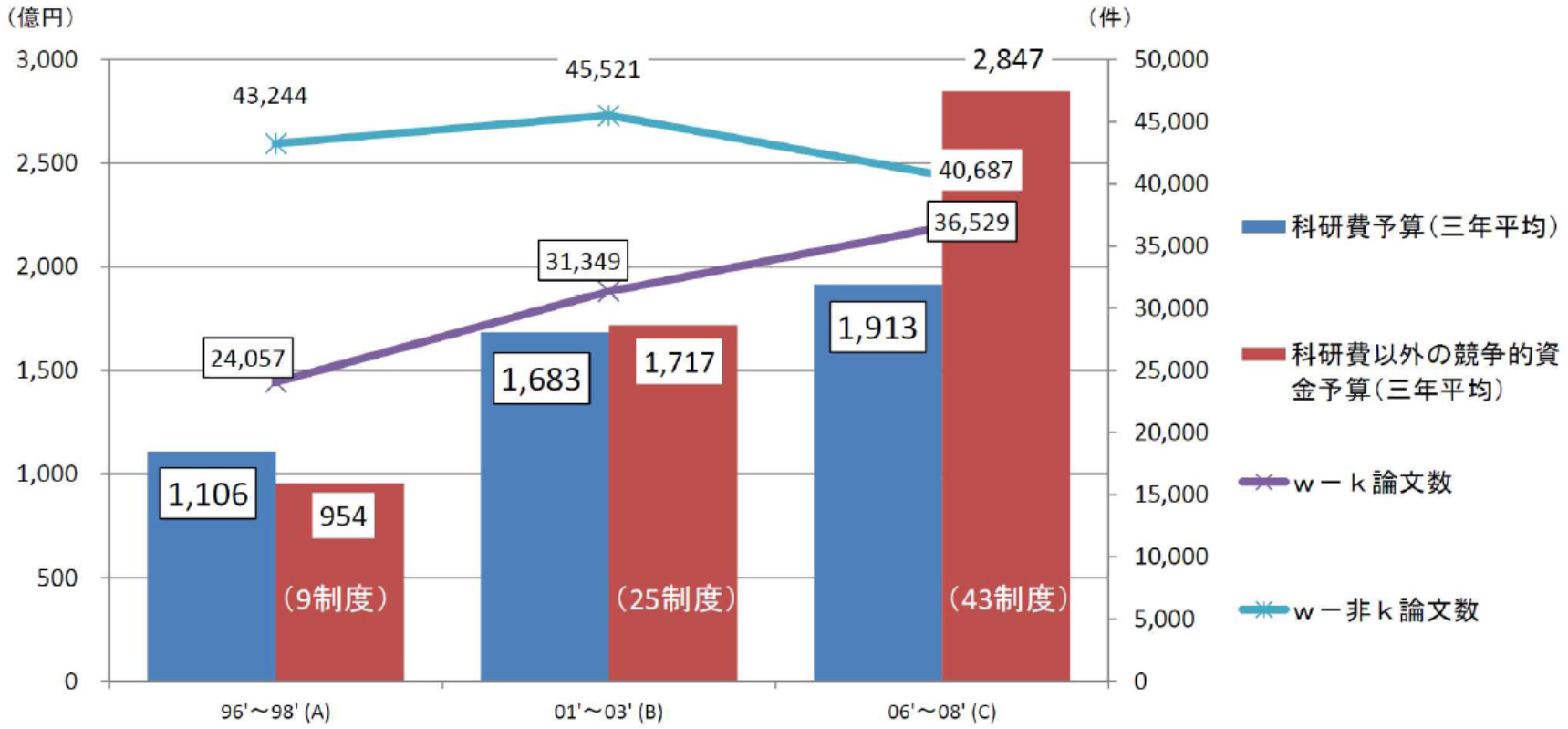
科研費予算額・助成額は近年横ばい状態。

科学研究費補助金予算額の推移



科研費による論文は、科研費以外の競争的研究費による論文と比べて増加傾向にある。

研究資金と論文生産性の関係



(出典) 論文数については、科学研究費助成事業データベース(KAKEN)と論文データベース(Web of Science)の連結によるデータ分析(科学技術政策研究所)。競争的資金は文部科学省調べ。

※()書きは、98'、03'、08'の科研費以外の競争的資金制度の数。

※w-k論文においても、科研費以外の研究資金を財源とする研究課題と協力している可能性がある。

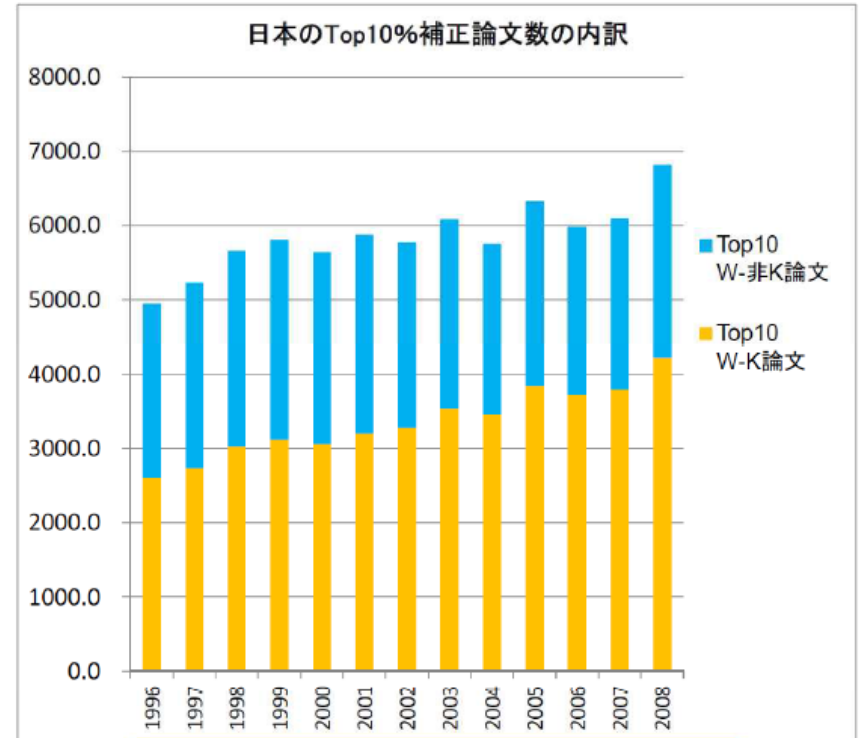
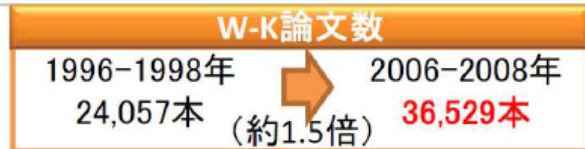
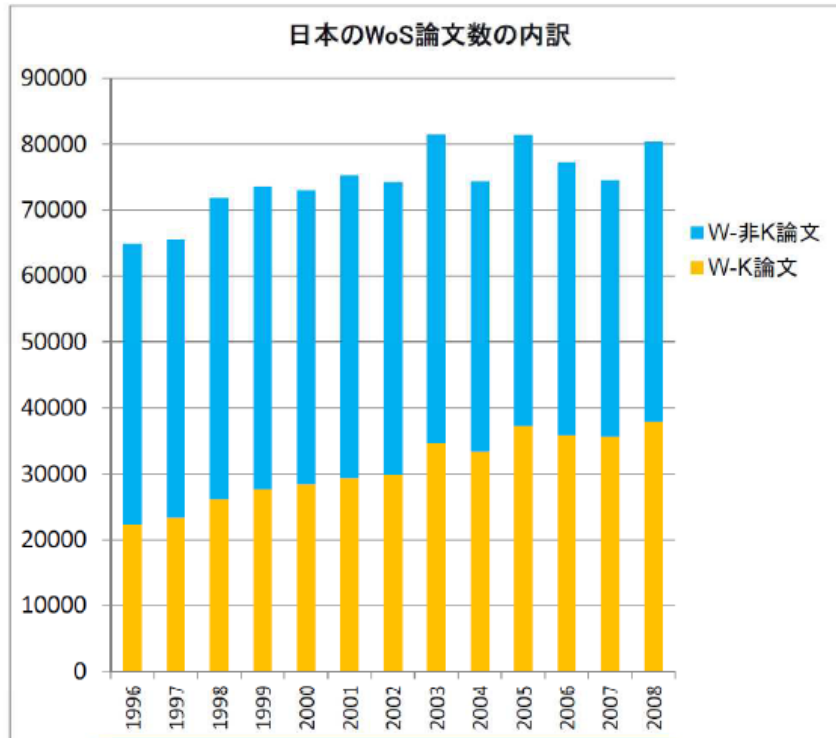
※WoS論文: Web of Scienceデータベースに収録されている論文

※W-K論文: WoS論文のうち、科学研究費助成事業データベースに収録されている、科研費による論文

※W-非K論文: WoS論文のうち、科研費による論文以外の論文

科研費が関与した論文数及び被引用度トップ10%論文数は増加傾向。
日本の論文産出活動の量及び質の面において、科研費の役割が大きくなっている。

日本の論文産出活動における科研費関与論文割合の推移



WoS論文 : Web of Scienceデータベースに収録されている論文
W-K論文 : WoS論文のうち、科学研究費助成事業データベースに収録されて
W-非K論文 : WoS論文のうち、科研費による論文以外の論文

(注)途中結果であり、最終的な結果が変わる可能性がある。

科学技術政策研究所発表資料(2013年3月研究費部会資料4)より引用

出典: 学術研究助成の在り方について(研究費部会「審議のまとめ(その1)」)
(平成25年8月29日 科学技術・学術審議会 学術分科会研究費部会)